

第45回市民事業専門委員会の結果概要 (H26. 8. 7)

1 市民事業専門委員会の取組状況と今後の方針について【資料 1 - 3】

都市部における市民事業への支援を広げる方策や、新たな支援団体の開拓のための方策として、市町村等の開催するイベントにリーフレットを配架について提案があり、実施に向けて検討していくこととした。

都市部における市民事業への支援や、事業報告会のあり方について、継続して検討することとなった。

2 平成26年度市民事業交流会の開催について【資料 1 - 4】

平成26年度の市民事業交流会は、次のとおり開催することとした。

開催日：平成26年10月19日(日)

開催内容：①市民団体活動展

＜場所＞新都市プラザ

②補助事業団体の意見交換会（ワールドカフェ方式）

＜場所＞「市民フロア」ミーティングルームNo. 3

3 平成26年度市民事業専門委員会活動スケジュールについて【資料 1 - 5】

平成26年度の市民事業専門委員会の活動スケジュールを、資料のとおり確定した。

委員会における主な意見（○＝委員の発言 ●＝県側の発言）

【市民事業専門委員会の取組状況と今後の方針について】

- 新たな支援団体の開拓について、例えば12月に戸塚区で行われるイベントでは、様々な団体がブースを設けて出展している。昨年は3,300人の来場者があり、若い世代が多く来場しているため、リーフレットを置くなど、新たな団体の開拓に活用できるのではないかと。
- 相模原市や藤沢市のNPOセンターなど、秋はイベントが多く新たな団体の開拓に活用できるだろう。
- 高度化支援の補助期間が終了した団体の活用と言っても、小さな団体は体力的に自立が難しく、料金が低いと支援になりにくいだろう。
- 協働にもいろいろな形があり、意見交換も協働の一つ。それぞれの団体の規模、実力に合わせた協働が必要。意見交換してニーズや活動状況を把握し、イベントなどにつなげられるとよい。
- いま、補助を受けている団体も、県の動きを知っている団体とそうでない団体があり、まずそこから始める必要があるかもしれない。来年、水源環境保全・再生施策の評価を行うので、それに向けて、市民団体にも参加いただきたい。その仕組みを検討していきたい。

【市民事業交流会について】

- ワールドカフェ方式の意見交換会は、まず背景等を説明するミニ講座を行い、その後出題する形がよい。
 - 昨年と同様、新都市プラザでの市民団体活動展と共に、同日午前中に、コミュニケーションルームにおいて、ワールドカフェ方式による市民団体の意見交換会を開催する。意見交換会は、服部委員によるミニ講座のあと、意見交換を行う。